

秘

昭和17 八五六三 略

廣東 三月二十六日後發
本省 二十七日前着

歐

東洋外務大臣

高津總領事

第二四六號

外交官等交換問題、海關長米人「リットル」
ニ關スル件

黃電合第五一七號ニ關シ

元當地海關長米人「リットル」ハ誤テヨリ本官ニ對シ健康勝レ
サル趣ヲ以テ日本外交官相互交換協定等ノ易合ニハ是非トモ兩國
方容施アリタキ旨内々顯出テ居ル處商人ハ本官ト同學ニアモアリ
戰前米米兩總領事同様接觸極メテ多ク而モ常ニ協力的態度ヲ示
シ居リタルニモ鑑ミ本官トシテハ同人ヲ總領事ト同様ニ遇シ何カ

外務省
三月二十六日發
本省
二十七日前着

電信寫

秘

ト心配シ遣リタル次第ニシテ同入カ最近自宅ニ無聊ノ日ヲ送ルニ
及ヒ速ク本國ニ殘シアル子女ニ想ヒテ馳セ泌々自（己）ノ行先ヲ
變ク感シ居ル心情ハ充分諒解シ得ルヲ以テ今次上海行ハ同人ニ取
リ替へ感無キ歟ヒト存セララル處果シテ同人等海關職員カ相互交
換ノ範圍ニ含マレ居ルモノナリヤ否ヤ本官含ミ迄ニ何分ノ儀御垂
示請フ（了）

電信寫

秘

昭和五、五二五、一六、略

上海 三月二十七日午後 四、五
本館 二十七日夜着

東郷外務大臣

堀内總領事

第六四五號

(米英)ノ外交官等交換ニ關スル件

貴電合連五二八號ニ關シ

官吏及之ニ準ルモノ以外ノ引揚ニ關シテハ被交換者ノ順位ヲ英米側何レニ對シテモ同一順位ニ依ラシムルコトト決定セル趣ナル處右決定ハ貴電合連五二七號中米側別ノ希望シ居ル被交換者選定順位ニ即チ(一)大公使館領事館ノ館員其ノ他ノ官吏(二)新聞記者赤十字社員ニ次テ(一)遺捕又ハ拘留中ノモノ(二)上海ヨリ還歸公使居住

電信寫

者云々ニ對シ等ニ優先ヲ與ヘサルモノト解シ差支ナキニ於地端西總領事館ニ於テハ其ノ決定ノ順位ニ離シ何等報告ヲ受ケ居ラズルヲ以テ前掲(一)及(二)ニ指イテハ上海ヨリ還歸地居住者等ニ優先ヲ與フヘキモノトシ其ノ調査ヲ爲シ居ル處右檢措置スルニ於テハ調査第一次引揚ニ關シ各ハサルヘキヲ以テ西總領事トモ連絡ノ結果左記ノ通り取送マコト適當ト認メラルルニ付テハ特ニ支障ナキ限リ右檢措決定方配ヲ相成度ツ

(一)留置貴電ニ決定ノ順位ニ右順位ニ付テハ同總領事ハ亦直轄商會使ノ訓令ヲ受クル迄暫ク留保致度シ(二)ニトナルモノ内ニ婦女子及老人弱弱者ヲ加ヘ其ノ順位ヲ銀行會社員ノ前ニ任セシムルコトトシ

外交官交換

秘

電信寫

(一)前記(一)引揚人員ノ選定ニ付テハ先ツ上海、北京及南京在留者ヲ
リ行フコトトシ餘裕アル際初メテ其ノ他地域居住者ニ及ボスコ
トス

尙其ノ他交換ニ關シ當方氣付ノ點在ノ通り

一英及米制交換船ノ當地到着時期ハ之ヲ同時ト爲サス其ノ間二三
週間ヨリ置クコト事務編譯ヲ避クル爲適當ナリト思料ス

二米儲引揚ニ關スル持出荷物ノ制限中一人ニテ運搬ノ得ル重量ニ
付テハ實際同運トシテ幾幾多ナルヘテ慮一瑞西制ニ於テハ其ノ
明確ナル決定ヲ希望シ居レリ(荷運開始ニ先立テ之ニ五〇疋乃
至七〇疋ト明示スルコト如何

三與地ヨリ上海到着迄及上海灣在中ノ費用ヲ何方ニテ負擔スルモ
ノノ範圍ハ特定ノ者ニ限ルコトナシ一設英米人ノ分ニ付テモ同
樣負擔スル様取計ハルルコト適切ナリト存ス

南大、漢口、北平、天津、青島、濟南、芝罘、廣東、廈門、寧波
セリ

秘

電信寫

外交部文牘

匯和 八六三八 略 廣東 三月二十七日發 本省 二十七日夜着 歐

東郷外務大臣 高津總領事

第二五二號

（崇山丸早發方ニ關スル件）

本官發條谷宛電報

第一一號

當地敵國人約六十名本月末貴地出帆豫定ニテ崇山丸ニテ四月二十日迄三望港スル様上海向輸送方外務大臣ヨリ訓令アリタル處右ニハ同國貴地早發方必要アルニ付貴地東亞運ニ御連絡ノ上何分儀至急返電アリタシ

大臣へ轉電セリ

大西、リ南大、上海、廈門、汕頭へ轉電アリタシ

秘

手紙

東郷外務大臣

本省

二十七日午後

高澤總領事

第二五三號（至急）

（外交官等交換ニ關スル件）

廈門發賣大臣宛電報第七六號及第七九號ニ關シ
 當地東亞海運ノ説明ニ依レハ嵩山丸ノ基隆寄港ハ運ニ石炭補給ノ
 爲ナルヲ以テ其ノ上海迄ノ所製石炭一五〇噸當地ニ於テ入手可
 ナシハ右寄港ヲ中止スルコト並支ナキ煙ナルニ依リ同船ヲ在廈門
 總領事意見ノ通り南支在留敵國人檢送用ニ充テ同地ヨリ上海へ直
 航セシムレハ往復第二四二號ノ手記モ要セス好都合ナルハニ思料

電信寫

セラルルニ付特ニ興亞院ニ聯絡ノ上同船ニ所製石炭配給方ニ了
 解ヲ得置ケル外東亞海運ニ對シ一般乘客ノ豫約差控へ方聯絡シ
 ケリ爲念
 上海、廈門、汕頭へ轉電セリ

外交官等交換ニ關スル件

秘

電信寫

昭和廿 五 二四七七 略

石門 三月二十七日發
本省 二十七日發

中山縣署

軍部外務大臣
第三六號

（敵性團體支那救護會公報、在留民ノ屬國希望者版）
照會ノ件

貴大臣東京（大）宛合第五一六號ニ關シ

當館内各憲兵隊ニ就テ調査セラル處歸國希望者ハ在留ノ宣放隊中米

國人男一女（一夫婦）、華洲人男一、計三名ナリ（了）

外務省文庫

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

昭和五 五二五一六 時

上海 三月二十七日午後 歐 亞
本管 二十七日夜宿

堀内總領事

東郷外務大臣
信六四五號

（米英）ノ外交官待交換ニ關スル件
會電合第五二八號ニ據シ

官吏及之ニ準スルモノ以外ノ引揚ニ關シテハ被交換者ノ順位ヲ英
米間何レニ對シテモ同一順位ニ依ラシムルコトト決定セシメタル
處右決定ハ會電合第五二七號中米側側ノ希望シ居ル被交換者選定
順位（即チ）（1）大公使館領事館ノ職員其ノ他ノ官吏（2）新聞記者赤十
字社員ニ次テ（3）建捕又ハ押留中ノモノ（4）上海ヨリ遠隔ニ居居住

考云々ニ對シ特ニ優先ヲ與ヘサルモノト解シ蓋シテヤキ舊地籍
面總領事館ニ於テハ其ノ決定ノ順位ニ關シ何等報告ヲ受ケ居ラサ
ルヲ以テ前掲（1）及（4）ニ續イテハ上海ヨリ遠隔地居住者等ニ優先ヲ
與フヘキモノトシ其ノ調査ヲ爲シ居ル處有様措置スルニ於テハ強
底第一次引揚ニ關シ合ハサルヘキヲ以テ舊地籍領事トモ連絡ノ情
狀左記ノ通り取送フコト適當ト認メラル。ニ付テハ特ニ支障ナキ
限り右様決定方配相成度シ

（1）留頭會電ニ決定ノ順位（右順位ニ付テハ同條（1）項ハ在英留頭會
任ノ判令ヲ受タル迄暫ク留保致度シ）ノコトナルモノ内ニ婦女
子及老人弱病者ヲ加ヘ其ノ順位ヲ銀行會社員ノ前ニ任セシムル
コトトシ

中 外交官交換

秘

電信寫

(一)前記(一)項揚人食ノ選定ニ付テハ先ツ上海、北京及南京等
リ行フコトトシ餘裕アル際初メテ其ノ親地域居住者ニ及ボスニ
シマス

向真ノ他交換ニ關シ當方氣付ノ點左ノ通り

一、英及米側交換部ノ當地到着時期ハ之ヲ同時ト爲サス其ノ間二三
週間々貨クコト專務轉ヲ避クル爲適當ナリト思料ス

二、米側引揚ニ關スル荷出石數ノ制限中一人ニテ運搬ニ待ル量莫ニ
付テハ實際問題トシテ幾幾多カルベキ處ニ現西側ニ於テハ其ノ
明確ナル決定ヲ希望シ居レリ一荷造開始ニ先立チテ、五〇底乃
至七〇底ト明示スルコト如何

三、真地ヨリ上海銅管迄及上海港在中ノ費用、我方ニテ負擔スルモ

ノノ韓國ハ特定ノ者ニ限ルコトニシテ一般英米入ノ分ニ付テモ同
様負擔スル様收計ハルコト切ナリト存ス

南大、漢口、北平、天津、青島、濟南、芝罘、廣東、廈門、韓龍
セリ

特扱

昭和四 五二四九七 (略)

上海 三月二十七日午後
本省 二十七日午後 五

東洋外務大臣

省内領事

第六三五號 (大要急)

(在上海敵國武官等ノ措置ニ關スル件)

往電第六一七號ニ關シ

二股事務官ヨリノ聯絡ノ次第モアリ目下憲兵隊備ニ於テ押留中ノ
英米人ニ關シ不取敢事件ノ軍法會議邊延期方申入レ置キタル處
此ノ種申入ヲ爲ス場合軍備ニ中央ヨリ指令ナキ爲困難アリ大要急
軍中央ヨリ現地ニ聯絡方御措置願度シ(了)

電信寫

外務省

外機密

昭和四 八六九〇 (略)

芝罘 三月二十七日午前
本省 二十八日午前

陸、海

東洋外務大臣

長岡領事

第四九號

(敵國外交官領事官ニ關スル件)

貴電合第五一號ニ關シ

一月二十六日附本官發在上海場内總領事宛第三號ニ依リ御承知
相成度キ旨二月九日附拙信普通第五四號ヲ以テ報告済(但シ其ノ
後米國領事從者二名追加ノ次第ハ往電第四二號ノ通り)ノ處重ホ
テ報告ノ要アリヤ爲念御同覽請フ(了)

電信寫

我々千名係外交官支店

陸軍省
外交官交換

秘

昭和 五二五五三 略 廣東 三月二十八日發 本省 二十八日夜着 監

東郷外務大臣

第二五六號

高津總領事

(外交官等交換ニ關スル件)

貴電合第五一七號ニ關シ

往電第二四三號ノ通り當地軍側ニハ未タニ指令ナキ越ナルカ其ノ
希望モアリ陸軍省ニ指令發出方御聯絡相成度シ
上海、厦門、汕頭へ轉電セリ

外交部事務文書

電信寫

秘

昭和 八七七四 略 坊子 三月二十八日發 本省 二十八日夜着 監

東郷外務大臣

野村主任

第四號

(敵性國籍支那機關官吏歸國希望者
照會ノ件)

貴電合第五一六號ニ關シ

當館管内敵國人歸國希望者數牧師一、醫師二(以上男三)及看護
婦(女一)計四名ナリ(了)

外交部事務文書

電信寫

秘

昭和廿八年三月二十八日午後 本署 二月二十八日午後 高井 領事

東郷外務大臣

第三七號

（東京）ノ外交官等交換ニ關スル件

貴電合第百二八號ニ關シ

第一次交換船上海ヨリ南下ノ途中廈門汕頭廣東ニ寄港セシメラレ
得ハ當地歐人トシテハ生計極メテ困難ニテ上海ニ一府集結セラ
ルヨリモ經費ノ點ニ於テ餘程助カルヘク現地側トシテモ此ノ方
溢カニ望マンキニ付左様御取計請フ
南京、上海、廈門、廣東ニ轉電セリ

外交官交換

電信寫

秘

外交官交換

昭和廿八年三月二十八日 廈門 三月二十八日 前發
本省 二十八日 後着

東郷外務大臣

石川 領事

第八二號（大至急）

（崇山丸石炭補給ニ關スル件）

貴電第七五號ニ關シ

崇山丸カ必要トスル石炭補給ニ付テハ當地關係方面ト打合濟チリ

（了）

電信寫

秘

東郷外務大臣

三月二十八日午後

遊澤後領事

電六八號

遊澤後領事支那機關官公使在留民ノ歸國
希望者該照會ノ件

電台第三一六號ニ關シ

該電及遊澤後領事細道ヲ電報スヘキモ不取敢

一英國一領事職員ヲ含む一男一四、女一〇、計二四

茶道一同一男二六、女三二、計五八

加奈陀、男一、女一、計二

總計八四

遊澤後領事支那

電信寫

秘

昭符 五二五六六 瑞

天津 三月二十八日 夜着

天

東郷外務大臣

加藤總領事

第一三四號

(外交官等交談ニ關スル件)

貴電第九一號ニ關シ

希臘國籍ナリ (了)

外務省交換

電信寫

秘

電信寫

2

外交官交換

昭和17 五二五四九 略 廈門 三月二十八日後發 本省 二十八日夜着

東郷外務大臣 石川總領事

第八三號

(敵性國籍支那機關官公吏在留民歸國希望數照會ノ件)

貴電合第五一六號ニ關シ

當館管内敵國人歸國希望者數左ノ通り

米國一三、其ノ内男九(内子供四)女四(子供一)(内女一名ハ米國籍小人二名、母タル丁秣國籍婦人ニシテ子供ニ同伴スル者ナリ)

英本國三四、其ノ内男一八(子供三)女一六(子供四)

濠洲一(男)

「ニュージールランド」四其ノ内男一女三(小人二)

印度八(男)

和蘭四(男)

計六四名ナリ

尙此ノ外英本國人(内二名女)ハ歸國ハ欲セサルモ家族ト同居

爲引揚船ニテ上海迄赴キタキ旨希望シ居レリ

上海(總)、廣東、汕頭へ轉電セリ

秘

昭和十七年三月三十日午後
三月三十日午後
本 省

東郷外務大臣

第一九號

（歐性國籍支那機關官吏在留民歸國希望者）
照會ノ件

實業合第五一六號ニ關シ

米人男一名女一名（海員員夫妻）

英人男海員一會社員一區教師四計六名（内海員及區教師一名）

（軍醫ヲ有ス）女六名（區教師五海員一）白耳養（ユイ）一名

合計十五名ナリ

北大、芝罘、博電セリ

外支市交換

電信寫

秘

昭和十七年三月三十日午後
三月三十日午後
本省

東郷外務大臣

第四二號

（歐性國籍支那機關官吏在留民歸國希望者照會ノ件）

大臣發賣東支市交換第五一六號ニ關シ

當地海員及海員六名（米五、英一）中歸國希望者ハ米人女

三名ナリ尙海員側ノ分ハ目下調査方依中ニ付詳細次第追記ス

電信寫

秘

電信寫

外交官交換

昭和 八 九 一 略 青島 三月三十日發 本省 三十日發着 庫 五

東洋外務大臣

高瀬總領事

第一四〇號

（外交官交換問題）

上海總領事大臣宛電報第六四五號ニ關シ

同電（一）引揚地之順位ニ付テ、軍ノ重要ナル鐵道兵站等ニ於テ

敵國入ノ取扱ハ上海、北京、天津等ニ比シテ、鐵道兵站等ノ事情ニ共

ニ青島ニ優先ヲ與ヘラルニ極致展シ

南京、上海、北京、天津ニ轉電セリ

外機密

昭和五 五二六〇一 暗

上海 三月三十日 夜着 本省 三十日夜着 駐米

原簿外務大臣

國內線急事

第六五八號

(米兵「グリフェイス」ニ關スル件)

青島發テ電報號第二二二號ニ關シ

特ニ當地竊西總領事館ヨリ在青島米領總領事館書記

STHEINノ消息問合方依頼越セルヲ以テ同地總領事館ニ照合セル

處留電報送り同電アリタルカ瑞西領ヨリ當館宛送り越セル米領外

交官領事館員「リスト」中ニ同人ハ記載セラレ居ル次者モアリ同

人ヲ被疑者中ニ含まシムルコト適當カト存セラルル處其ノ必墜

電信寫

ヲ認めラルルニ於テハ海軍中央ト然ルヘク往折衝相成度シ
青島へ轉電セリ

外交方針
交換

REEL No. A-1184

外機密

昭和17 五二六二〇 廣東 三月三十日後發 本省 三十日夜着

東郷外務大臣

高津總領事

第二六〇號

(外交官等交換ニ關スル件)

往電第二五七號ニ關シ

筑波丸ハ三十一日當地發香港へ直ヒ翌一日同地發汕頭、厦門、寧

波經由上海へ向テ處同前へ香港ニテ同七敵國人約一四〇名ヲ收容

(定員八十五名)ニル趣ナリ爲念

上海へ厦門、汕頭ニ轉電セリ

電信寫

外交官等
中交換

外機密

昭和17 五二六一八 廣東 三月三十日後發 本省 三十日夜着 歐

東郷外務大臣

高津總領事

第二六一號

(崇山丸廣東立寄り要求ノ件)

本官發盤谷宛電報

第一二號

往電第二八號ニ關シ

崇山丸ハ當地へ寄港セス實地ヨリ汕頭へ直航ノ豫定ナルヤニ辨セ

ラルル處往電第一一號ノ通り南支在留「タイ」國人ハ四月二十日

迄ニ上海向キ輸送スヘキコトトナリ居ルニ付テハ同船當地寄港方

是非共御取計ノ上實地出帆日取御同電アリタシ(了)

電信寫

外機密

外文下等文取

昭和二十六年三月二十日午後
三月二十日夜
本

第六六一號
（米兵）

寄島陸軍官宛

第二一號

シ
タ
リ

電信寫

特種海軍警備隊司令官ニ聞合セタル處「タリ」ハ現役海軍
二等兵曹「シ」以テ停務トシテ客年十二月東京ニ送致シテ付海
軍官ニ直接連絡アリ度キ旨回答セリ

尙當地米商領事館ニテハ從來身役海軍軍人ヲ無電「オレ」
トシテ配属シ秘ニ無電ヲ受テ爲シ居タルモノニテ正式館員ニテ
ラサル所シ

(了)

秘

傳
五〇號

電信寫

昭和 八九六〇 略 芝罘 三月三十日發
本省 三十一日前着

東郷外務大臣

長岡領事

(米英ノ外交官等交換ニ關スル件)

貴電合第五二七號ニ關シ

荷物ハ私有品ニ限リ公用品及公用貨類等ノ持出シハ許可セラレサ

ルヤ御覽示アリタシ又荷物ノ個數ニハ收容力ニ支障ナキ限り制限

ナシト解ヌル處此ノ點モ爲念御指示ヲ請フ

北京へ轉電セリ

長岡領事
三月三十一日發
本省 三十一日前着

REEL No. A-1184

秘

昭和17 八九五九 略

芝罘 三月三十日午後
本省 三十一日午前

改

東遼外務大臣

第五一號

長岡領事

(外交官等交換ニ關スル件)

貴電第一七號ニ關シ

轉國希望者採取急キ取置中ナルカニ方東亞海運天津支店及當地出
張所ヨリ旅客及積荷ニ關係ヨリ樂山丸ヲ芝罘ニ寄港セシメラレ
キ旨本社ニ電請中ナル由ニモアリ御口添ニ依リ是非トモ考慮セシ
メ轉國希望者ニ部吏ケニテモ上海迄送り出スコトニ致度キニ付
可然御配慮ヲ請フ(樂山丸ノ次航ハ四月下旬トナル由ナリ)

電信寫

尙敵國人引揚ケニ關シテハ當地東亞海運ニハ何等指令ナキ由ナル
カ書冠ノ乗船客ト同様切符ノ購入ヲ要スルヤ(差當リ樂山丸ノ船
合大ルカ大連經由等ニテ個々ニ上海ニ至ル)外人類ヨリ何出ノ次
勢アリ折返シ御電示アリ候シ
北大、天津へ轉電セリ

外交部事務
長岡領事

外機密

昭和17 五二六四九 (暗) 上海 三月三十一日午後
本營 三十一日夜着

東洋外務大臣

堀内總領事

第六七〇號

(「ピンチエワインドロースト」) 號問題)

往電第六六〇號ニ關シ

漢口方面ノ話合繼リ「インドウローストローヤ」號ハ明一日午後出
港ノ決定(了)

之反交換

電信寫

秘

昭和17 八九八八 暗 杭州 三月三十一日午後
本省 三十一日夜着

東洋外務大臣

田中領事

第二〇號

(政社國籍支那機關官公吏在留民ノ歸國希望者數)
照會ノ件

費電合第五一六號ニ關シ

英國人男一、米國人男一

上海へ傳電セリ

Handwritten notes and signatures in the center margin.

電信寫

秘

昭和 八九六七 略

九江 三月三十日前發
本省 三十一日前着

歐

東郷外務大臣

片桐館事

第二四號

(敵性國籍支那機關官吏在留民歸國希望者數
照會ノ件)

關下發南京宛電報合第五一六號ニ關シ

希望者無シ

南京へ轉電セリ

外交官交換

電信寫

秘

昭和 五二二二二二

洋野 三月三十一日發
本省 三十一日發

歐

東郷外務大臣

望月總領事代理

第四〇號

(敵性國籍支那機關官吏在留民ノ歸國希望者數
照會ノ件)

電報合第五一六號ニ關シ

管內該當者ナシ

張家口へ電報セリ

外交官交換

電信寫

秘

昭和17 九〇四八 略 青島 三月三十一日後發 本省 四月 一日前着 賦

東洋外務大臣

高瀬總領

第一四八號 (至急)

(敵性國籍支那機關官吏 在留民ノ歸國希望者照會ノ件)

貴電合第五一六號ニ關シ

當館管下英國在留民(三月末現在)總數百四十七名、米國人百十
一名中目下歸國希望者ノ數左ノ通り(目下拘留中ノ英國人十一名
米國人三名中ノ歸國希望者英五米一ヲ含ム)
一、英國人八二名

電信寫

(イ)領事館員男三、女三、子供(十四歳以下)女三、計九

(ロ)上海本社ノ決定ヲ候チ(一照中)歸國ヲ希望スル會社社員男二

西、女八、子供男四女四、計四〇

(ハ)宗教關係者(本部ノ決定ニ候ツ)男三、女二、子供男一女二

計八

(ニ)其ノ他

男五、女一六、子供女四、計二五

三、米國人四五名

(イ)領事館員男三、女一、計四

(ロ)宣教師及一般在留民男二一、女一五、子供女五、計四一

南大、滬大、北大、天津、濟南へ轉送セリ

特扱

並

昭和四 五二七〇四 (略)

新京 四月一日後發 歐、直
本省 一日夜着

東洋外務大臣

梅津大使

第二四五號(大亞急)

(米英トノ外交官等交換ニ關スル件)

貴電第二三一號並ニ會第三二七號ニ關シ

左記並急御同電ヲ請フ

記

- 一、本邦内行先地(乗車券購入別手荷物)「チツキ」ノ關係モ了シ
- 二、彼交換者行先地迄ノ汽車等級ハ一等ニ五等トスヘキヤ或ハ本人ノ希望又ハ身分ニ應シ決定スヘキヤ

電信寫

外務省

特扱

電信寫

馬車並ニ滿洲國側ハ大連經由ヲ希望シ居ルモ大連ニ於ケル收容所並ニ船艙收容力等ヲモ考慮スレハ朝鮮經由ト成ルヘク依ツテ國益聯絡船ノ相當及本邦内地列車ノ配車方御手配相成度シ

又英國官吏ノ引越荷物ノ大キサハ當方鐵道ハ特別輸送ノ關係上或程度ハ容認シ得ルモ本邦鐵道トノ聯絡ヲ考慮スレハ「チツキ」トシ得ル數量(一個ニ付三十斤)トスルヲ適當ト存スルモ右ニテ並支ヘ無キヤ

又波蘭領事モ英國ト同様ニ取扱ヒ可然キヤ

尙滿洲國及關東州内被交換者ハ約二百名前後ノ見込ナリ(了)

外務省

外機密

電信寫

昭和五 五二七〇〇 晴 天津 四月一日 午後 本省 一日夜着 賦

東郷外務大臣

第一四八號

加藤總領事

(外交官交換問題)

貴電合第五八五號ニ付シ

左ノ諸點ニ付何分ノ細回示請フ

- 一、領事館員ハ各警領事及其ノ他官吏(當地ニハ警職名譽領事、米國在支裁判所員、新西蘭名譽通商代表アリ)希冀名譽領事ハ引揚ヲ希望シ居ラス(ヲ含ムモノナリヤ)
- 二、從者中ニ第三國人ヲ含ムモ差支無キヤ

三、荷物ノ個數ニ制限アリヤ
北大、上海へ轉電セリ

外交官交換

秘

昭和17 五二七〇七

東京 四月一日午後
本省 一日夜着

代

東京外務大臣

高津總領事

第二七四號

(外交官等交換船ニ關スル件)

電報第二五七號ニ關シ

「タイ」對本官宛電報第一九號ノ次第アルモ廈門ニ寄附セザル時
ハ同船ニテ具附アルヘク恩賜セラル尙差難ニテノ石炭補給ハ不可
能ニアラサルモ其ノ後與原院側ニ於テ口頭ナル事柄アルヲ以テ寧
ロ廈門ニ於テ補給ハルコト假シルヘシト存セラルルニ付茲ニ右御
事ノ上至急御決定アリ度シ
上海、廈門、汕頭ニ對シテ

外務省交換船

電信寫

秘

昭和17 五二七三八 略

汕頭 四月二日午後
本省 二日夜着

人

東京外務大臣

高井領事

第四一號

(檢送敵國人監視ノ爲書記生及警官出張ノ件)

山丸ニテ輸送スヘキ敵國人監視ノ爲書記生一名及警察官一名ノ
上海出張方御承認ヲ請フ
東京、廈門へ轉電セリ

電信寫

秘

昭和17 九二五五 略

光化門 四月二日後發
本省 二日夜着

鈴木司政局長

東郷外務大臣
第四六號

(米英トノ外交官交換ノ件)

往電第四五號ニ關シ

右ノ外尙左ノ點至急回電アリタシ

一、禁制品(指輪乃至眼鏡等)ノ持出ハ全然不許可トスルヤ否ヤ大

藏省ノ取扱方針

二、預金引出、家財其ノ他財産ノ處分、遺留財産ノ管理等外國人取

引取等規則トノ關係上如何ニ取扱フヘキヤ(丁)

電信寫

外交官交換

外機密

昭和17 五二七四八 略

北京 四月二日後發
本省 二日夜着

歐

東郷外務大臣

土田參事官

第三〇八號

(敵國外交官ノ交換引揚ニ關スル從者取扱ノ件)

敵國及準敵國外交官ノ交換引揚ニ當リ當地赴任ノ際本國ヨリ同伴

シ來レル我方同盟國乃至中立國々籍從者ヲ同伴致度キ旨申出アリ

タルカ此ノ種從者ハ敵國籍從者ト同様ニ取扱フ必要アラハ本人ノ

希望及所屬國出先官憲ノ承認ヲ條件トシテ許可シ差支ヘ無キ御

回示相煩度シ

南大、上海、廣東、天津、芝罘、濟南、青島へ轉電セリ

電信寫

外交官交換

秘

電信寫

外務省文庫

昭和四 九三〇〇 略 波海衛 四月二日發
本省 三日前着

東郷外務大臣

廣柄副領事

第一四號

(米英トノ外交官等交換ニ關スル件)

前會合第六〇一號ニ關シ

敵國人ノ交換日時決定ニ關シ未タ何等ノ御通報ニ接シ居ラス從テ
當地ヨリ上海ニ轉送スヘキ敵國人ノ範圍決定不能ナルニ付拙意第

一三號(電信課註、三月三十日著第一九號ト認メラル) 御参照ノ

上右範圍折返シ同電アリタシ

尚貴電ニハ「四月二十五日」トアルモ右ハ四月(應)ノ誤ニアラ

スヤ御同示請フ

芝罘へ轉電セリ

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター

秘

昭和17 九二七〇 略 芝罘 四月二日後發 函 歐

本省 三日前着

東郷外務大臣

長岡領事

第五七號

〔支那内地會英米人取扱ニ關スル件〕

China-England Mission 〔支那内地會〕經營ニ係ル當地英國會館學
校ニハ現在生徒一八九人ト職員及其ノ家族ヲ併セ三〇五人（一九
人ヲ除キ全部英米人）アル處三十一日同校校長（英國人）來訪シ
今次ノ戰爭勃發前英國政府ハ萬一ノ場合引揚其ノ他ニ關シテハ同
校全部ヲ一單位トシテ行動セシムル方針ヲ樹テ居リシリト稱スヘ
キ理由アリ從テ日本政府トノ間ニ話合進ミ居ルモノトモ思料スル

電信寫

一方上海ニ在ル本部ヨリノ指令ヲモ受ケ得ス（當地ニテハ敵國人
ハ電報郵便共ニ發受不能ナリ）トテ同校ノ生徒職員ノ取扱方ニ關
スル何等カノ情報無キヤト伺出テタリ就テハ本官ノ心得ヘキコト
アラハ御回電ヲ請フ
北大、上海へ郵電セリ

支那内地會

外機密

昭和十九年八月九日

青島 四月二日午後發
本省 三日午前

東洋外務大臣

高瀬總領事

第一五四號

(米兵「グリフィス」ニ關スル件)

上海總領事官宛電報第六五八號ニ關シ

「グリフィス」ノ其地米國領事館ニ於ケル「ステイタス」ニ付取

調ヘタル結果、左ノ通りナルニ付、貴地ニ於テ本人旅券續關ノ上可

然備取計相成度ソ

「米國領事「マイヤー」ノ説明スル所ニ依レ「グ」ハ米國西細

亞細亞所屬海軍現役軍人ナリシモ青島領事館附ツ命セラレ「海

電信寫

軍命令書」ヲ携行上海着同地ニ於テ米國總領事ヨリ旅券ヲ發給

ヲ受ケ昨年八月三十日青島着、領事館無電「オベレーム」

シテ勤務シ居タルモノナリト述ヘ青島「ラヂオ」オベレーム

ニシテ正式領事館員ナル旨ノ證明書(領事署名)ヲ普領係官ニ

交付セリ

右旅券ハ本人東京押送ノ際海軍省ニ送致済ナルヘシ官職名ニ付

尋ネタルニ領事ニ記憶セストノコトナリ

ニ當地海軍側ノ説明ニ依レハ同入カ海軍現役軍人ナルニ依リ一應

東京ニ送致セル次第ナリ旅券面官職名ハ海軍軍人ト記載シアリ

タリトノコトナリ

上海へ轉電セリ

外交官事務

秘

昭和四年三月三十一日 略 芝罘 四月二日後發 本省 三日後着 歐

京滬外務大臣 長岡領事

第五九號 (米英トノ外交官等交換ニ關スル件)

本官發青島宛電報

第二三號

大臣發本官宛電報合第六〇一號ニ關シ

當地米領領事妻ハ半身不隨ニテ引揚ノ際特別ニ考テ方途ニ本官其
ノ他ヲ通シ端西側ヨリ申出ノ次第ニテリ。領事妻ノ(一語不明)
ニ依ラシムルコト極メテ凡ノ事ナラシ以テ同領事ノ希望シ居ル也

電信寫

ク同人夫妻及館員一名並ニ附番醫師及看護婦一行五名(何レモ米
人)ハ五日當地發上海行旅ノ樂山丸ニ乗給セ。ハニニ乘給ノ指
三ノ存スル處右ニハ軍備ノ部置ニ關シ付當地軍備ヨリ軍部軍
備ニ對シ緊急指令方取急キ御手配請フ。當地軍備トハ運送(濟)
尙英國領事夫妻子女一從者一及隨員二計六名モ同樂山丸ニ乗給
ルカ運支ナキヤ是等ヲ併セテ同意ヲ得カシ
大臣、上海、轉送セリ

一脫語照會ノ爲憑証 爲 信 証

外機密

昭和五 五二七七五 (暗)

上海、四月三日午後發
本省 三日發着

東郷外務大臣

總務課領事

第七〇一號

(在上海總領事武官等ノ措置ニ關スル件)

往電第六三五號ニ關シ

當地憲兵隊ニ於テ目下檢閲中ナル米英人甲ニハ今次交換ノ範圍

ニ屬スル者多數アリ處也

J. B. Jackson (Chief of the Naval Consulate Office of the American Consulate)

電信寫

三新聞記者(米人八、英人五、中米人一)チヤイナトボレスニ主

筆「シエト、ビー、パウエス」ハ既ニ事件ニ致致シ

ニ付テハ犯罪(支那事變關係諜報ニ依ル軍律違反)事實明瞭ニシ

テ且其ノ自供アリ且關係モアリ當館ヲシテハ交換ノ大局的見地

ヨリ是等ノ者ノ釋放方折角憲兵隊側ト折衝シ居ルモ「シヤクソン」

及新聞記者姓名ニ付テハ之カ釋放ハ困難ナル事情アリト認ムル處

東京ニ於ケル此ノ種事項ノ處理狀況御問取相成度

又是非共以上ヲ交換ニ加フヘキ必要アルニ於テハ其ノ氏名、犯罪

事實等ノ詳細ヲ更ニテ電報スヘキニ付陸軍省ヲ通シ適當指令發出

方相煩ハス外チキモ「シヤクソン」ニ付テハ現在憲兵隊ニテ檢査シ居ル

米國諜報員「巨頭タル「ワイリアムス」少佐(米海軍補佐官目下

「カセイマンション」)ヲ外交官トシテ交換ニ含マシムル關係上

Handwritten signature and date: 4/3/25

外機密

電信寫

「ウ」ノ「一」子分タル「ジヤ」ハ是非共交換ヨリ除外致度トノ極
メテ強キ希望アリ特ニ「ジヤ」ニ付テハ問題ヲ紛糾セシメサル様
寧ろ除外セラレラ可トスヘシト認メラル
爾太へ轉寫セリ

REEL No. A-1184

外機密

昭和五 五二七七二

北京 四月三日午後

本省 三日午後

辰

東部外務大臣

土田 参事官

第三一七號

(英米トノ外交官等交換ニ關スル件)

貴電合第五二八號合第五八五號及合第五八七號ニ關シノ
左ノ二點ニ就キ爲念至急御指示相煩成シ

一、日領電ニ依レハ二十五日迄ニ上海ニ到着致スハキ外交官等領事官
ハ北京、天津、青島、濟南ニ居留民ハ青島、濟南方面ニ限リ又
芝罘來電等互四點ニ依レハ本省ノ御指示ニ依リ同地居留者ノ一
部ヲ近日中ニ上海ニ檢送セシムル應ナル處右以外ノ北支要領各

電信寫

地居住者ハ第一次當ニ合マシメサルノ御意留ナリキ

ニ現地ノ事情ニ鑑ミレハ引揚ノ希望セサル者モ此ノ際強固的ニ留

留セシムルコト得難ト認メラルモノアリハ貴電合第五二八號

ノ二(四)ノ「ア」ニテ「エ」ト「全」部引揚ノ困難ノ如シハ希望者ト

雖單ニ於テ「二」字不明ハ制限ヲ實施シ居ル關係モアリ且ニ選

給無クシテ選給不可能ナルカ我方ニ於テ引揚ニ關シ一方的ニ制

限、選給乃至引揚等ノ措置ヲ執リ得ズハテキヤ

進テ御承知ノ如リ當地軍司令部ハ北支各軍ノ總元給ニテ此ノ選

引揚問題ニ關シ種々當信ト當地軍司令部ニ具體的實行方法ヲ協定セ

ス各地公館ニ於テ「バラバラ」ニ準備ヲ爲シモ選給等ノ他ニ付

因澤ヲ期シ難キニ付今後要領官等ニ連絡ノ上當地ニ於テ御意方

外交官交換

中

外機密

電信寫

面軍ト協同セシメラ、ル様致度シ
南大、上海、在北支各公館長、在蒙疆各公館長ニ轉電セリ

秘

電信寫

昭和廿一年 九三八〇

略

青島 四月四日 後發
本管 四日後發

歐

東總外務大臣

高瀬徳領事

第一五六號 (至急)

(米英トノ外交官等交換ニ關スル件)

貴電合第五二七號ニ關シ

同電中一ノ(一)冒頭「身廻リ品ニシテ大體一人ニテ運搬シ得ルハ
「トランク」等ノ個々ノ容積重量ヲ制限スルモノニシテ持出シ身
廻リ品ノ個數ヲ制限スルモノニハアラスト解スル處有ニテ送支無
キヤ軍側一部ニテハ右トハ反對ナル解釋ヲ下シ居ルモノモアルニ
付爲念至急御同電請フ

外交官交換

秘

昭和17 五二八三〇 略

廣東 四月四日發
本省 四日夜着 隊

東郷外務大臣

高津總領事

第二七九號

(米英トノ外交官等交換ノ件)

往電第二七六號ニ應シ

軍備並ニ瑞西領事ノ意橋モアリ約二十名追加計七十六名トナレリ

(了)

外交官交換

電信寫

秘

昭和17 五二七八四 略

廈門 四月四日發
本省 四日夜着

東郷外務大臣

石川總領事

合第一六號

(外交官等交換ノ件)

本官發廣東宛電報

第一一號

貴官發大臣宛電報第二七四號ニ關シ

崇山丸ヲ是非廈門ニ寄港センノラレ度ニ當地ニ於テハ石炭補給ニ

關シテハ關係方面ニ聯絡濟ナリ爲念

上海、大臣ニ轉電セリ

外交官交換

中

電信寫

秘

昭和十七 五一八四七

略 汕頭 四月五日 前發

本省 五日夜着

東郷外務大臣

高井領事

第四四號

(外交官等交換ニ關スル件)

往電第三五號ニ關シ

英國領事館通信員二名(英國籍支那人)ハ當和殘留ヲ希望ナリシ
モ最近心境ヲ變化シ來シ英國領事ニ同伴シ英國ニ赴ク事ヲ切望シ
府ルヲ以テ嶺山丸乘船方取計置キタルニ付當方送還者ハ計三十六
名ナリ

外交官等交換

電信寫

秘

昭和十七 九五一五

芝罘 四月五日 前發

本省 六日 前着

東郷外務大臣

長岡領事

第三四號

(米英ノ外交官等交換ノ件)

買道合第六〇三號ニ關シ

再島ニ於テ前ニ乘換ヘシムル要アルヘキ處何日當池發ノ和船派ニ
乗船セシムヘキヤ前廣ニ切決定アリタシ
青島、上海、威海衛ヘ傳電セリ

外交官等交換

電信寫

秘

昭和17 九五五〇 略

廣東 四月五日 夜發
本省 六日夜着

歐

東郷外務大臣

高津總領事

第二八三號 (至急)

(英米人引誘ニ關スル件)

六百瑞西領事ヨリ在上海同國代理公使ノ訓電ニ依ル趣ヲ以テ今日
上海向英米引揚民難送ニ當リ之カ保護ノ爲同領書記生ヲ同行セシ
メタキ旨伺出アリタルカ石渡支ナキヤ何分ノ儀折返シ御同電アリ
タシ

上海、廈門、汕頭へ轉電アリタシ

外務省交換

電信寫

秘

昭和17 九五五一 略

廣東 四月五日 夜發
本省 六日夜着

東郷外務大臣

高津總領事

第二八四號 (至急)

(崇山丸航行ニ關スル件)

東亞海運ヨリ崇山丸航行ノ安全ヲ期スル爲同船カ敵國人陰謀船ナ
ルコトヲ發見シテ總ヲ以テ申出アリタルニ付テハ何分ノ儀至急
御同電アリタシ

外務省交換

電信寫

秘

昭和V 九五一二

芝罘 四月五日午後
六日前着

東郷外務大臣

長岡領事

海六五號

(英米トノ外交官等交換ニ關スル件)

上海發賣大臣宛電報第六四五號ニ對スル本省御同電ハ未接到ナル
モ當地敵國人中ニハ上海ニ到ルモ同地ニテ取り殘ササルコト無キ
ヤヲ慎レ歸國希望申出ヲ躊躇シ居ル者アル處萬一第一船ニ洩レタ
ル場合

(一) 第二船出帆ノ時期

(二) 上海滞在中ノ生活振リ及生活費ハ如何相成ルヘキヤ(此ノ點ハ

電信寫

第一船ニ乗り得ル場合モ同様)ニ關シ御來示ヲ得ハ甚々好都合
ナリ

尙當地軍側ニハ成ルヘク多敵ヲ引揚クル様指導方訓令來リ居ル
由

又同電末段三ノ費用ヲ我方カ負擔スルモノアルヘキ點ニ付テハ
未々何等承知スル所ナキニ付此ノ點御明示ヲ請フ

北京、天津、青島、濟南、上海、威海衛へ轉電セリ

外務省
長岡領事

秘

電信寫

昭和十一年五月八日 上海、四月六日發、本省、六日夜電

京滬外務大臣

相内總領事

第七三三號

（米英、外交官等交換ニ關スル件）

本官特電天津青島宛電報

合第三三三號

大臣聯合第五二七號ニ關シ

北支引揚人員ノ持出シ念ニ付テハ上海到港後メ電報ニ交換シ置

カレ度キ處御如才無キコトトハ存スルニ關係方面ト御連絡ノ上適

當措置方相煩度シ

右為念

外務大臣へ電報セリ

本電宛先北大、天津、青島、濟南

手書きのメモや印がある

REEL No. A-1184

秘

電信寫

照和以 九五六九 陸

東京 四月六日 後發
六日 夜着

歐

東郷外務大臣

高津總領事

第二八二號

(米英トノ外交官等交換ニ關スル件)

貴電合第五九八號ニ關シ

崇山丸へ中甲板ニ油頭揚米ヲ積載シ居リ等々被載給者多數ナル此
ノ際油頭廈門ノ爲船室留候シ空室ノ繼續行スル要ナカルヘシト存
セラルルヲ以テ當船ヨリハ一等英米公館長及元稅關長(病體)二
等婦女子老齡者三等其ノ他ノ旅客ニ依リ不取敢各等ニ之ヲ全部收
容スル事ヲ付テへ同船油頭、廈門着ノ上右指令ニ依リ夫々振當テ

ラルルト共ニ定員外ノ者ヲ中甲板へ移シ變ヘラルル積載度シ、
尙同船へ九日當地入港ノ旨無線連絡アリタルカ出港へ十一日十二
日頃トナルヤノ趣ナリ
上海、廈門、汕頭へ電置アリタシ

外務省
東郷外務大臣

秘

電信寫

昭和17 五二八七六 略

上 四月六日 後發
本省 六日 夜 發 歐

東郷外務大臣

堀内總領事

第七二一號

(米英トノ外交官等交換ニ關スル件)

貴電合第五二七號ニ關シ

引揚ケノ荷物運搬船室ノ割當テ等直接船會社社員ヲシテ當ラシメ
タキ事項多キヲ以テ右打合セ其ノ他準備ノ都合上交換船ノ所屬會
社名至急回電アリ度シ(了)

外務省 交換

REEL No. A-1184

秘

電信寫

昭和五二八八三 略 上海 四月六日 後發 本省 六日夜着 歐

東郷外務大臣

第七三三號

(被交換者ノ上海集結方ニ關スル件)

本官發北大宛電報

第四〇號

貴官發大臣宛電報第三一七號末段軍調トノ連絡方ニ關シ
被交換者ノ上海集結方ニ付テハ舊館ヨリ總署及海軍武官ニ連絡シ
上海ヘノ旅行、荷物輸送及持出金等ニ付各地領事館ヨリ中心ノ傳
ナルニ付其ノ際ハ支障無キ豫取計ハレ庶テ旨依順シ圖キタル所

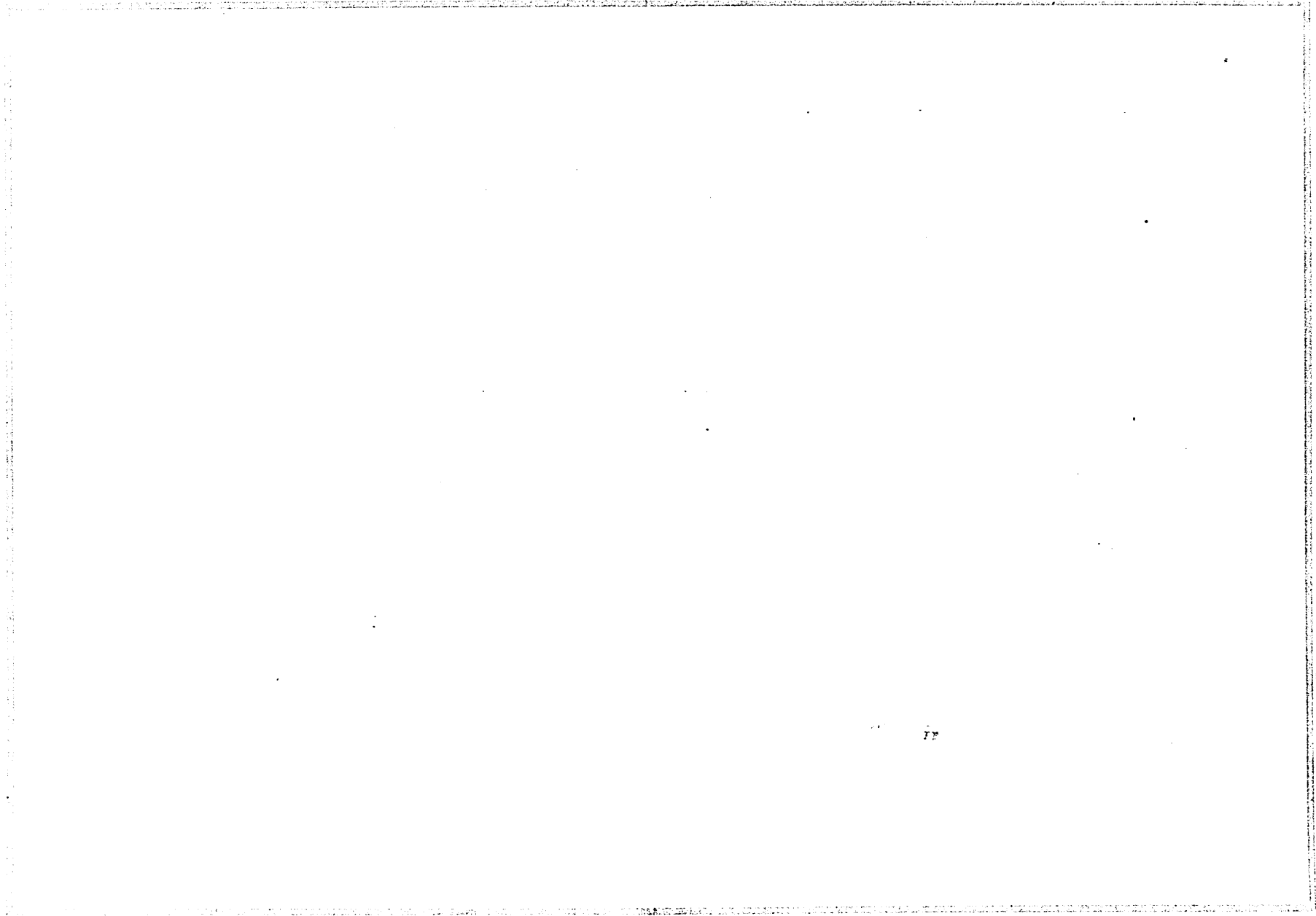
調ニテハ各地機關ニ夫々通報済ミノ趣ナルカ向圓滑ヲ期スル爲費
地軍調ト充分御連絡セラルルコト緊要ト存セラル爲念
大區、天津、濟南、青島、廈門、威海衛、南大、漢口、廣東、芝
罘、汕頭ヘ轉電セヨ

以ハテテ...

故之無者
一母集陪

電信寫

祿



REEL No. A-1184



秘

電信寫

昭和17 九五六一 略 唐山 四月六日後發

本省 六日夜着

歐

東郷外務大臣

梅谷副領事

第一三號

敵性國籍支那機關官吏在留民ノ歸國希望者數照會ノ件

貴電合第五一六號ニ關シ

該當者ナシ

戦平
梅谷副領事
外務大臣
梅谷

秘

昭和11 五二八八二 略

上海 四月六日 後發
本省 六日夜發

啟

東郷外務大臣

堀内總領事

第七三六號

(敵性國籍支那機關官吏在留民ノ歸國
希望者數照會ノ件)

資電合第五一六號ニ關シ

英米蘭引揚希望者數ハ事實上其ノ滯在者ノ大部分ナル處目下利益
代表國瑞西側ニ於テ優先的ノ順位別引揚者人名簿作成中ナルカ英米人
ニ付テハ既ニ各百名見當ノ「リスト」ヲ完成シ居ルヲ以テ船室ニ餘
裕生スルニ於テハ前記「リスト」記載英米人中ヨリ常時引揚ニ加

電信寫

ハシメ得ル様目下手配中右ノ外國籍別引揚希望者數左ノ通り

一 白耳義人

男十名、女七名、子供四名、合計二十一一名(内海關職員一名)

二 諸國人

男四七名

三 希臘人

男三一名

四 墨西哥人

孤兒四名

五 「ホンジニマス」秘魯「ベネズエラ」人

各一名

(了)

堀内總領事

秘

昭和四年四月六日 東京 四月六日 午後六時

滋澤 敬事

第七六號

（本館電報購置ニ關スル件）

本館上海分館電報

第四六號

往復電報四回數ニ關シ

一、當地外國宣教師ニシテ無條件歸國ヲ希望スルモノ九名（内一名

「カトリック」）

二、左記ノ如クハ宣教師會本部ヨリ今後引續キ生活費ヲ支給セラレザ

電信寫

レハ歸國ヲ希望シ居ルニ付當該本部ヨリ歸國方勸告センメラレ
結果手急御回電ヲ請フ

Miss Drummond (Presbyterian Mission)

Mr. Phillips (同)

Miss Korfet (同)

Miss Hall (同)

Mr and Mrs Giesler (China Inland Mission)

Miss Moon (Methodist Mission)

Miss Wolcott (同)

Mr and Mrs Matti (Friends Mission)

Mr Miss W. Halsett (Presbyterian Mission) 本部ノ歸國勸告アラハ歸國

引渡す
事務

秘

電信寫

ス一キ旨申出テ届ルニ付本部ヨリ歸國報告セシメテシ
前電通リ電報轉セリ

REEL No. A-1184

秘

昭和 五二八七五 略 上海 四月六日 發 六日夜 著

本管

東郷外務大臣

總領事

第七二二號

（敵國外交官領事官家族調査方ノ件）

往信普通第四六二號ニ關シ

「ロ」及「バ」兩夫人ハ在馬尼刺米國總領事館員ト共ニ保護中ナ

ル留置軍團ヨリ通報アリタルハ同地ニハ兩名ノ外上海領事館書記

「ロング」令嬢 THESE MRS. JONES アリ右合計三名共其ノ夫

或ハ兩親ノ營地ヨリ近ク本團ニ引移クルコト相成ルモノニ付同レ

モ其ノ家族ノ馬尼刺ニ引續キ留置シ長ク不安ナル事情ノ下ニ別居

電信寫

セラルヲ得サルヘキコトヲ深ク憂慮シ日本官憲ノ好意ニ繼リ來週

セシメ得ル程特別ノ恩與ヲ施サレタキ旨本官遊學次哀願シ來リ居

レリ軍側トシテモ香港ノ場合ノ如ク占領地内ノ外人ニシテ可然キ

事由アル者ハ出來ル限リ退出セシメタキ意圖アルニアラスヤトモ

存セラルルニ付右事情御察知ノ上本省ヨリ軍側ニ對シ右三名ノ馬

尼刺ヨリ直接或ハ内地經由京滬方便宜供與方商交渉ノ上結果御回

示相預度シ（了）

Handwritten signature or initials in the right margin.

秘

電信寫

外交局長 櫻

電報 九五八八

陸

本 管 光化門 四月六日 午後 七日 前 達

軍 務 外 務 大 臣

鈴川司 謹 啓

第 二 號

(外 交 官 等 交 換 問 題 ニ 關 シ 回 答 請 求 ノ 件)

日 本 米 國 英 國 外 交 官 等 交 換 ニ 關 ス ル 貴 國 第 八 九 號 (特 許 證 書) ノ ラ
ス (受 電 セ ル カ 右) 官 方 ヨ リ 照 會 ニ 對 ス ル 回 答 ニ ア ツ ス ト 認 メ
ラ ル ル ニ 付 爲 念 尙 往 電 第 四 五 號 往 電 第 四 六 號 ニ 關 シ 答 復 請 求 ア
リ 度 シ (了)

秘

電信寫

昭和五 九七三五 暗

芝罘 四月六日午後
本省 八日午後

歐

東郷外務大臣

長岡領事

第七一號

(引揚英米人出遊ノ件)

上海電信第一六號ニ據ルニ
 右米英人ノ乗山丸乗船ハ員電第一七號ニ依リ管領ニ於テハ至急人
 取取經ノ必要ヲ認メ同船ヲ利用スルコトナルヤモ知レサル旨附
 言シテ歸國希望ノ電報申出ヲ督促シタルニ據リ管領ノ管地等
 港助カトナクヤ其ノ後細察示アリシリソ一 據ニ依リ青島ニテ乗換
 フル方法ハ甚々不便ナレハトテ米國領事一夫人ハ半身不遂ナリ

ヨリ是非乗山丸ニ乗船可敷計ヘレシト懸望アリ前後ノ事情ヨリ
 誰ソ達支ヘ無キモノト判断シ青島及當地官側トモ連絡ノ結果任意
 間ニ會フ希望者ニ第ニ軍制ノ旅行許可方取計ト自便ニテ切符ヲ
 買ハル乘船セシムルモノニ付領了承ヲ請フ引揚敵國人ニ不檢
 快ナル印線ヲ與フルコト無キ様軍制及税關具ノ他共打合せ我方ノ
 審度ヲ示ス方針ニア屬シテ處理シ技師直前ニ出來得ル限り世間シ
 ズリヨルヲ以テ乘換船以下何レモ我方ノ好意ヲ感謝シ極メテ滿
 足シツツ出送シムル次第ナリ
 北天、南支、上海、青島、天津へ轉送セリ

外務省

秘

電信寫

昭和7 九五八七

芝罘 四月六日發
本省 七日前發

東洋外務大臣

長崎領事

第七〇號

(引揚英米人出發ノ件)

本官駐上海宛電報

第一六號

青島宛第一三號及青島來電第八號ニ關シ

英米領事一行ヲ含ム英人男八女五米人男六女七計二六名ヲ六日
山丸ニテ出帆セシメテ十日實地着ノ豫定ニ付然ルヘク領事配相
願ハシテ

尙之等外人ハ一般旅客ト同様切符ヲ購入乗船シタルモノナリ
大臣、北大、青島、威海衛へ電報セリ

外務省交換

秘

電信寫

號 番 一 二 三 〇 六	符 略	昭 和 十 七 年 四 月 六 日 後 四 時	分 三
一 二 二 五 二			主 三

南京、北京、上海、天津、青島、濟南、漢口、廣東、廈門、汕頭、芝罘、威海衛、坊子、張店、博山各館長

東郷外務大臣

第一次交換船ニ乗船セシムヘキ在支敵國人等ニ關スル件
合第六〇九號

本英トノ外交官等交換ニ關シ在支敵國及斷交國人ニ關シテハ(一)北京天津ヨリハ大公使館領事館編員ノミヲ(二)芝罘、威海衛、青島、坊子、濟南、張店、博山、漢口、南京、廣東、汕頭、廈門ヨリハ大公使館領事館編員ノ外非官吏歸國希望者ヲモ含メ第一次交換船ニテ送還スル爲四月二十五日迄ニ上海ニ集結セシムルコトトセル

カ(三)上海ニ付テハ西貢ニテ乗船セシムヘキ「タイ」國及佛印ヨリノ人数ヲ見込ミ尙收容ノ餘裕アル場合ニ限り大公使館及領事館編員ノ外非官吏ノ歸國希望者ヲ乗船セシメタキ意圖ナリ
尙前記各地ヨリノ送還者人数中現在判明シ居ルモノハ威海衛一五青島一二七坊子四漢口一一五南京八四廣東五一汕頭三四廈門七〇計五〇〇名ニシテ英領三二九名米領一七一名ナリ
本電宛先 南京、北京、上海、天津、芝罘、威海衛、青島、濟南、漢口、廈門、汕頭、廣東、坊子、張店、博山

秘

保秘

電信寫

開和電 五二九三二 略 上海 四月七日午後發

本省 七日夜發

東京外務大臣

東京總領事

第七四六號

一敵國外交官領事官家族ニ關スル消息ノ件

往電海軍九六號ニ關シ

本國領事官ヨリ同夫人へ來電ヨリ上海へ來ル途中戰爭勃發シ日下
馬尼刺ニ於テ同領事官館員ト共ニ收容セラレ居ル事ニテ同夫人
ヲ第一次交換船ニテ引揚ケ万配慮ヲ得タキ皆願出洋ル處有ハ在馬
尼刺本國領事館員トノ關係モアリ困難ナリトハ存スルモ時ニ當リ
又ハ面會ニ遊就セシメ引揚ニ加ヘシムル可能性アリヤ何分ノ條回
電アリクシ(了)

手記
4/7
午後
7時
夜發

秘

昭和17 五二九二二

北京 四月七日午後
本省 七日夜

東郷外務大臣

土田参事官

第三二九號 (至急)

本邦側交換船出帆遅延ニ關スル件

電合第六一三號ニ關シ

當地並ニ天津地方 敵側外交官及領事官ハ二十日過キ館員之ヲ引
率ノ上汽車ニテ上海ニ送致スル豫定ナル虞主ナル荷物(當地ノ
ニテモ總計約三百個ニ達ス)ハ輸送上ノ便宜所要日數ニ關係上汽
車便ヨリモ船便ヲ得策トスルニ付天津ト打合ノ上當方ヨリ十二日
天津ニ送り十四、五日頃同地ヨリ大連就路船ニ積込ミ大連ニテ積

電信寫

換ノ上二十一日頃止海着ノ船ニ積換フルコトニ手配中ナリ就テ
ハ交換船出帆延期ノ場合ハ恐クモ十一日午前中途ニ御電報相煩度
南京、上海、天津へ轉電セリ

Handwritten signature or notes on the right margin.

秘

昭和十七年四月七日午後

青島 四月七日午後
本管 七日夜

高瀬 總領事

東洋外務大臣

第一六二號 一六至急

本官發北大江電報

第六六號

芝罘發上海電報第一六號ニ關シ

樂山丸一本七日午後當地ニ寄港スヘキ處一行ノ芝罘出發ニ關シテ

一當地海軍艦艇ニ一且許可ヲ與ヘタルモ其ノ後五日突然北下

方面軍ヨリ不許可ノ旨ニ接シ其ノ旨改メテ元來艦艇ニ命令セラル

電信寫

芝罘ニ於テ其ノ指令ニ従ハス一行ヲ出發セシメタル次第ナルカ

當地軍トシテ右北京ヨリノ命令ニ基キ一行ヲ當地ニ上陸セ

今回ノ上海行ハ延期セシムルノ外無シトモルヲ以テ當館ニ於テ

昨今來軍ト交渉シ一行中ニ半身不隨ノ米國領事ヲ等令

殊事情ヲ説明シ且一行二六名ノ多數ヲ收容スヘキ適當ノ宿舍ヲ

尋察ニ關シ上海巡捕行方強調ノ事ニ於テモ事情ヲ了トシ再三

方面軍ト連絡セルモ方面軍ノ同意ヲ得ルヲ得ス已ム無ク一行ヲ營

地ニ上陸セザルコトモ之ヲ敵性國民ノ取扱ニ付青島カ他地方ニ

比シ甚クシク嚴格ナルハ累次報告ノ通りニシテ從テ樂山丸ノ行

タ今後モ相當ノ困難ニ當リシムルコトハ概用ノ紛糾ヲ生

ムル惧ナリ旁々一行ヲ上海ニ於テ待機セシムルコト最モ便宜ノ

手書きのメモ

秘

電信寫

置ト存セララルルニ付當地軍ニ對シ貴地方面字ノ許可至急發出
御幹旋煩廣シ
大臣、上海、芝罘、威海衛へ轉送セリ

秘

昭和四年五月二十九日

南京 四月七日發
本省 七日發着

郵務大臣

日高代理大使

第三九八號

「ロング」娘歸米ニ關スル件

郵務局長へ 日高公使ヨリ

上海領事函書記「ロング」ハ今般外交官等交換船ニ依リ歸米ノ意
定ナル處同人娘ハ昨年歸米ノ途中大戦勃發ノ爲馬尼ラニ留マリ居
ル趣ニテ今般歸國ニ除シ同行出來得ル様埠内公使ヲ通シ韓慶方依
頼濟ミノ由ナルウ本使ヨリモ特ニ右項出許可方口添ヘアリタキ旨
依頼越セリ同人從來ノ我方ニ對スル好意的態度ヲモ體ミ本人ノ切

電信寫

望實場出來得ル様小官トシテモ希望ニ堪ヘス差出カマシキモ右申
進ス

上海(總)へ轉電セリ

外交部
待
急

1974

三番 2-1
34272 200

KOJIMACHI SHANGHAI 4399 43 7 3 52S TOKYOYUBIN TATA TASS



EXCELLENCY MAMORU SHIGEMITSU 2/1 SANBANCHO KOJIMACHIKU

支那 駐米 大使 宛

BEG YOU SUPPORT MR. HIRIUCHI'S RECOMMENDATION TO FOREIGN OFFICE FOR RETURN MY DAUGHTER FRANCES FROM MANILA TO SHANGHAI TO SAIL WITH WIFE AND SEREF ON EVACUATION STEMER END MONTH UNDYING GRATITUDE FOR YOUR HELP E A LONG.

1942 APR 8 PM 4 09

昭和 年 月 日

秘

電信寫

昭和17 九七五二

略 廣東 四月八日後發
本省 八日夜着

歌

東郷外務大臣

高津總領事

第二九一號

(外交官等交換問題海關長米人「リットル」ニ關スル件)

往電第二四六號ニ關シ

元當地海關長米國人「リットル」ハ今次引揚敵國人ノ一人トシテ
近ク上海ヘ向フヘキ處同人ト本官トノ間柄ハ冒頭往電ノ通りナル
ノミナラス最近神聖衰弱尤進シ途ヤニテ如何ナル事アルヤモ測ラ
レサルニ付其ノ親友タル米國總領事ト一等ニ同室セシメ同總領事
ニ萬事面倒ヲ託シ送ル所存ナルニ付テハ上海ヨリ交換地迄モ同様

同室方特ニ取計方御寵慮相煩度シ

上海(總)ヘ轉電アリタシ

別紙送付

秘

昭和17 五二九六七

南京 四月八日 夜着

略

東郷外務大臣

日高代理大使

第四〇五號

(中支在留米英宣教師及會社員引揚ノ件)

本官發上海宛電報

第一六八號

中支方面在留米英宣教師會社員中引揚ニ關シ貴地教會又ハ會社本部ヨリノ指令ヲ必要トスト稱シ屈ル者鮮カラサル處將來ノ爲ニモ此ノ種ノモノハ此ノ際成ルヘク調劑ニ引揚ケンムル様致度キニ付如才無キコトニハ存スルモ貴方ニ於テ本部首腦者ニ對シ本人ニ取

電信寫

リテモ此ノ際引揚ケルコト得兼ナル旨懇篤御説相成リ莫ク越旨ノ指令ヲ發セシメル様御説相請フ(了)

外務省
引揚

秘

電信寫

京郵外務大臣

第三三三號

北京 四月八日午後
八日午後

主用抄譯官

（歐州外交官等引揚ノ件）
本官發上海宛電報

第二七號

電報合第 三三一號ニ關シ

舊地外交官領事官ノ旅中費用トシテノ持參金ニ關シテハ全額當座ニ於テ取遣メ之ヲ上海ニ電送シ取船ノ際電報ニ添ヘタルモノヲ式々手交スルコトト成度ク右ハ辦費公單照引換ノ煩ハシキ手續モ省

カハルモノト認メラルルヲ以テ各官ノ持參金額ヲ申附セシメ
シツアル次第ナルカ北京支倉地ニ於テモ外交官ト一般日持參費比ト
ワ開ハス一様ニ右方法ニ依ルコトトシ又上海迄ノ送附貨物ノ持參
費及上海ニ於テル宿舎費ハ外務官等ニ於テ負擔スルモ其ノ他種費
（買度ノ補給一般稱當費）ニ付テハ各自ニ於テ去々負擔セシムル
コトト成度ク

大臣 南太ニ上海、在北支倉公館長、在關稅公館長（海關）

外務省
陸軍省

秘

電信寫

昭和17 九八三六

略

蘇州 四月九日 前發

歐

本省

九日後發

東京外務大臣

市川領事代題

無二八號

(敵性國籍支那機關官公吏在留民ノ歸國希望照會ノ件)

貴大臣發上海宛電報會第五一六號ニ副シ

米國人八名内男六、女二名ナリ外ニ不明ナル者七名(米國人直致

無)アリ(了)

米交有交換

REEL No. A-1184

秘

昭和四 五二九八八 略

漢口 四月九日午後
本省 九日夜着

東郷外務大臣

田中總領事

第一一〇號

(敵國人歸國希望者ニ關スル件)

往冠第八六號ニ關シ

其ノ後得面側ノ熱心ナル勸告ニ依リ最初出港リ居リタル者モ歸國
ヲ希望スルニ至リタル爲左ノ通り歸國希望者數増加セリ

米國歸國希望者二十五名ノ處十四名増加シ三十九名

英國漢口居住者中歸國希望者七十五名ノ處十五名増加シ計九十名

奧地居住者中約四十名歸國希望者アル見込

電信寫

白耳義國二名アリタルモ斷念シ希望者ナシ
和蘭希臘希望者ナシ

其ノ他奧地居住者ニ付目下軍側ト連絡ノ上調査中ナルモ約二十五
名希望者アル見込ナルニ付右ニ公館員英九米三計十二名ノ合算シ
管内希望者數計二〇六名ニ^達スル見込ナリ尙二十日迄ニハ正確
ナル歸國希望者數調査完了ノ豫定ナルニ付追報ス
本電旨趣往電ト共ニ上條へ轉電セリ

秘

電信寫

外交官交換

昭和十四年五月二十九日

上海 四月九日發
不省 九日發着

東京外務大臣

堀内總領事

第七七五號

外交官等交換關係和蘭領事館員ニ關シテ
照會ノ件

附置第四五二號ニ關シ

何レモ當地ニ在勤シ家族居住ラニ猶 留ルハ「トレイド」コンメンロ

テ「一」ナリ

(一)